

7月の行事予定

- 1日(金) そらキャンプ説明会(5歳児)
- 4日(月) 誕生会
- 11日(月) キャンプごっこ(5歳児)
- 14日(木) ~15日(金) そらキャンプ(5歳児)
- 26日(火) 避難訓練

8月の行事予定

- 18日(木) 避難訓練
- 26日(金) 誕生会

そら組が1泊2日で国立吉備青少年自然の家にキャンプに行きます。

※その他の行事についても今後の状況次第で変更する場合があります。

教える！子育ての悩み相談

Q.おもちゃの片づけがなかなかできません。何かいい方法はありますか？

A.まず子どもがどうして片づけをしないのか考えます。片づける場所がわからなければ、写真やイラストで視覚的にわかりやすくしたり、片づけ方がわからない場合は、おとなと一緒にしたりします。できたこと(小さなことでも)をしっかりと認めていくことで、子どもの意欲につながるがあります。

井上 隆雄

我が家の朝ごはん

材料：卵1個 牛乳100cc 砂糖大さじ
食パン2枚 バター少量

作り方：卵、砂糖、牛乳を平たい容器で混ぜ、食パンを液に浸します。この時食パンを二等分に切っていると液がしみこむのが早いです。両面浸って食パンがふやけた状態になったらフライパンを熱し、バターを少量入れ溶けたら食パンを両面焼き、完成です。子どもの大好きメニューで食パン二枚ぺろりと食べてしまいます。

岡本 未来

共同農園のイマ

収穫時期を迎えたじゃがいもを地域の方と一緒に収穫しました。いろいろな形や大きさのじゃがいもがたくさん採れています。両手で土を掘り、友だちや職員に見せ合いながら、収穫する喜びを共有することができました。



採れたじゃがいもは、フライドポテトやポテトチップス、じゃがいもの焼き団子、みそ汁の具などにして味わいました。自分たちで採ったじゃがいもの味は格別なようです。



やまびこだより



社会福祉法人岡山子ども協会 とよた保育園
赤磐市松木549 TEL 995-0244
令和4年7月4日発行 第291号

晴天の空の下、とよた保育園名物の田んぼどろんこです。おとなも子どももびのびと楽しみました。

【こどもの言葉や行動から】

大きいクラスを持つことが多い私ですが、今年度は約10年ぶりに小さいクラスの担任です。こどもたちと一緒に生活をしていく中で、こどもたちからいろいろなつぶやきや聞き取り、指さして保育者にしてほしいことなど意思表示をしたりして伝えようとしています。何気ないこどもの行動や言葉には、発見や興味があるものなど様々です。まだ言葉にして伝えることが難しいゆき組ですが、言いたいこと、伝えたいことを保育者が代弁をしながら心を通わせています。

ある日、園庭にシャクトリムシがいると「おった！」と指さして保育者に伝えるこども。一人の子が気がつくのと、他の子も何がいたの？とばかりに集まってきました。シャクトリムシを中心に円を描き、観察会の始まりです。身体の色や虫の動き方、どこに向かって進んでいるのかなど気になることはたくさんあるようです。一番はシャクトリムシが動くということが面白いです。動くことに「キヤー」「あっち(くへ)」と大はしゃぎ。一匹の虫ですが、「面白い」をみつけることばらうく目が離せないこどもたちです。

こどもたちの何気ない言葉や行動に気づき、こどもの気持ちが出てくる時の一場面を見つけないと思えます。日々の「楽しい・面白い・好き・やってみよう」というこどもたちの思いを保護者の方に伝えることで、こどもが今、何に興味があるのかを共有していきたいと思えます。

内田 沙緒里



社会福祉法人岡山子ども協会

とよた保育園ホームページ URL とQRコード
<https://toyota.okayamakodomokyoukai.jp>



もも・ほし・つき組
たんぽぽグループ



【梅ジュースパーティ】

梅シロップ（梅ジュースの原液）の作り方を見ながら、ヘタをつまようじで取ったり、実を洗って拭いたり一つひとつの工程をこどもたち自身がしました。同じグループの友だちと「どうやってやるん?」「どんな味になるのかな」と話し合い、時には年齢の大きい子が小さい子に「貸してみて」と難しいところを手伝う姿がありました。氷砂糖が解けるまでの3週間、時々梅シロップの出来具合を見ながら飲める日を楽しみにしていたこどもたちです。みんなで作った梅ジュースの味の感想は「おいしい」「酸っぱい」など様々でした。

【黄色い実みつけた】

給食室からとうもろこしの皮剥きの手伝いをお願いされました。普段あまり見慣れない皮付きのとうもろこしを見て、「それなに」「やさい?きゅうり」と不思議な表情をしていましたが。皮をむき始めていくうちに薄っすらと黄色い実が見えてくると、「あっ、とうもろこし」と驚いた表情でした。そっと粒に触り、「ブツブツ」と感触を伝えてくれる子もいました。給食に出た時、みんながむいたことを言うと嬉しそうに食べて「あまい」「おいしい」などの感想がありました。

自分で剥いたトウモロコシはより一層美味しかったようです。発見や気づきを友だちや保育者と共有しながら、経験をたくさんしたいです。



にじ組



梅の酸っぱい匂いがするね



ともろこし

Best Shot



もも・ほし・つき組
つとろしグループ



【みんなで一緒】

“大根抜き”という集団あそびをしました。鬼に抜かれないように友だちと握っている手に力を入れて、離れないようにする遊びです。待っている子どもたちは、「いつ抜かれるのかな」とときどきしながら待っています。クラスの中でジャンケン列車や大根抜きなどゲームを活動に取り入れているのですが「何してあそびたい?」と話をした時に、「みんなで一緒にあそびたい」とこどもの方からも声が上がっています。友だちに対して“関わるのが嬉しい”“一緒に楽しい”と思える関係作りができてきているのだなと思いました。

リズムあそび

保育者の身体の動きを見て同じように動いてみるこどもたちです。リズムあそびの“とんぼ”ではとんぼの羽のように手を広げ、スイスイと飛んでいる動き（走る）をします。ゆき組の友だちが手を広げ、曲に合わせて気持ちよさそうに走っていると、はな組もピアノの音に身体を揺らしたり、パチパチと拍手をしたりしながら、ゆき組のリズムの様子を楽しんでいました。身体を動かす楽しさを感じるこどもたちでした。



はな組・ゆき組